

# 事故の予防



## 月齢・年齢別で見る起こりやすい事故

月・年齢	起こりやすい事故	事故の主な原因と対策
新生児	周囲の不注意によるもの 窒息	誤って上から物を落とす 上の子が抱き上げてけがさせたり、物を食べさせたりする まくらや柔らかい布団
1～6 か月	転落 やけど	ベットやソファーなどから落ちる (ベットから離れるときは柵を上げる) 大人がこどもを抱いたまま熱い飲料をこぼす
7～12 か月	転落・転倒・はさむ やけど 溺水 誤飲・中毒 窒息 車中のけが	扉、階段、ベット、バギー、椅子 アイロン、魔法瓶やポットのお湯、炊飯器やスチーム加湿器の蒸気 浴槽、洗濯機に落ちる(残り湯をしない) たばこ、医薬品、化粧品、洗剤、コインなど お菓子などの食品がのどにつまる 座席から転落(チャイルドシートで防止できる)
1～4 歳	誤飲(中毒) 窒息 転落・転倒 やけど 溺水 交通事故 火遊びによる死傷	範囲が広がり、あらゆるものが原因になる お菓子などの食品がのどにつまる 階段、ベランダ(踏台になるものを置かない) 熱い鍋に触れる、テーブルクロスを引いて湯をこぼす(テーブルクロスは使用しない) 浴槽に落ちる、水あそび 飛び出し事故(手をつないで歩く) ライター、マッチなどによる火遊び (こどもの手の届くところにライターなどを置かない)

※ こども家庭庁ホームページ「こどもの事故防止ハンドブックについて」 [Q 検索](#)

けいれん

発熱

せき

下痢

おう吐

腹痛

発疹

けが・虫さされ

口や歯のけが

やけど

熱中症

くすりの上手な  
飲ませ方

坐薬の使い方  
くすりのQ&A

誤飲・誤食

異物の  
吐かせ方

事故の予防

応急手当

救急車を  
呼ぶとき

救急医療の  
ご案内

### 〈車の中の危険〉

窓を閉め切った車の中は、真夏でなくても短時間で車内温度が上昇し、こどもが脱水や熱中症を引き起こし、命を落とすこともあります。こどもが車内の装置を動かして事故になることもあります。どんなに短時間でも、決してこどもだけを残して車から離れてはいけません。また、パワーウィンドウに首や指を挟まれて重傷を負う事故が起きています。操作する前に必ず一声かけ、普段はロックしましょう。